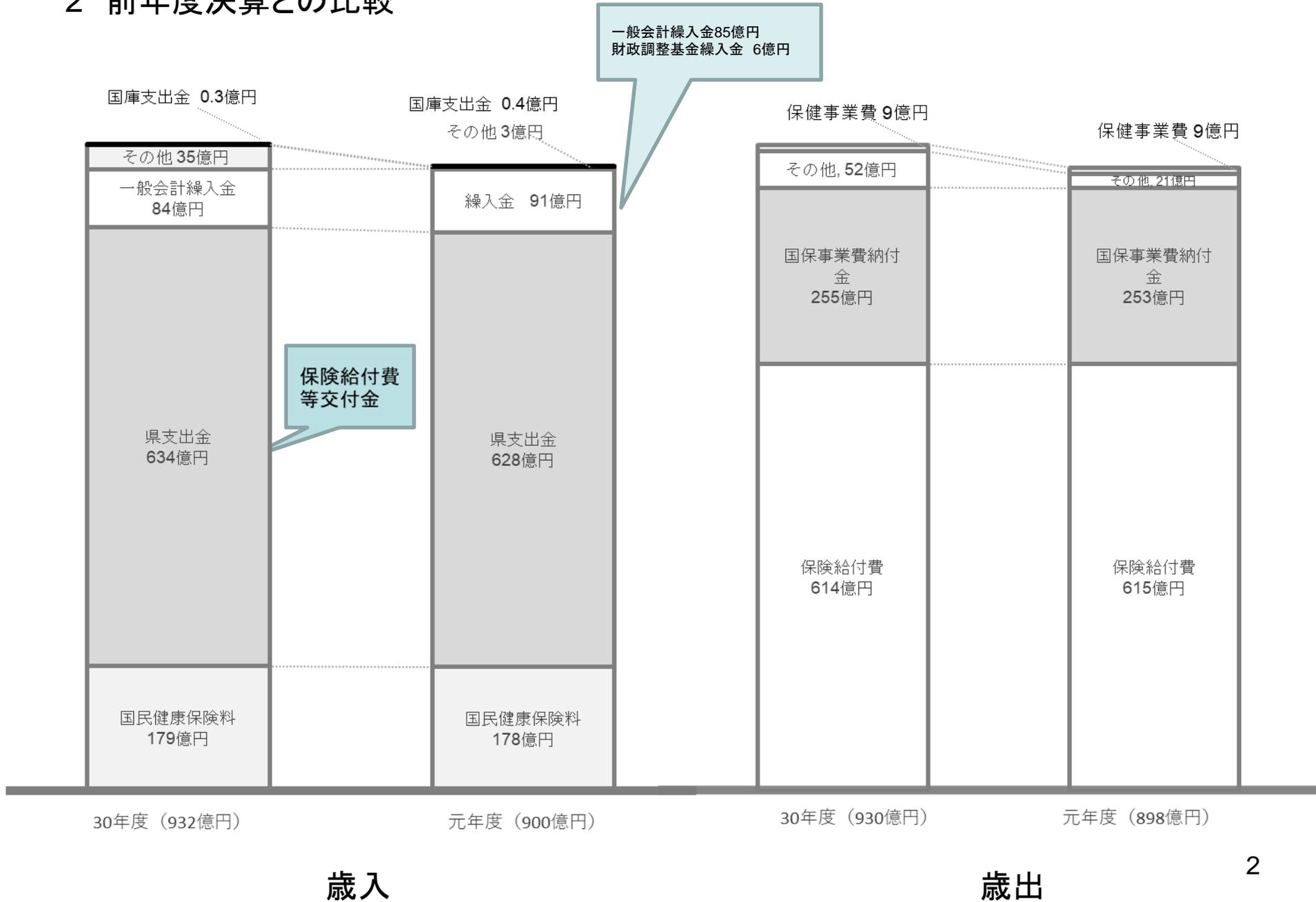


令和元年度  
仙台市国民健康保険事業特別会計  
決算(案)について

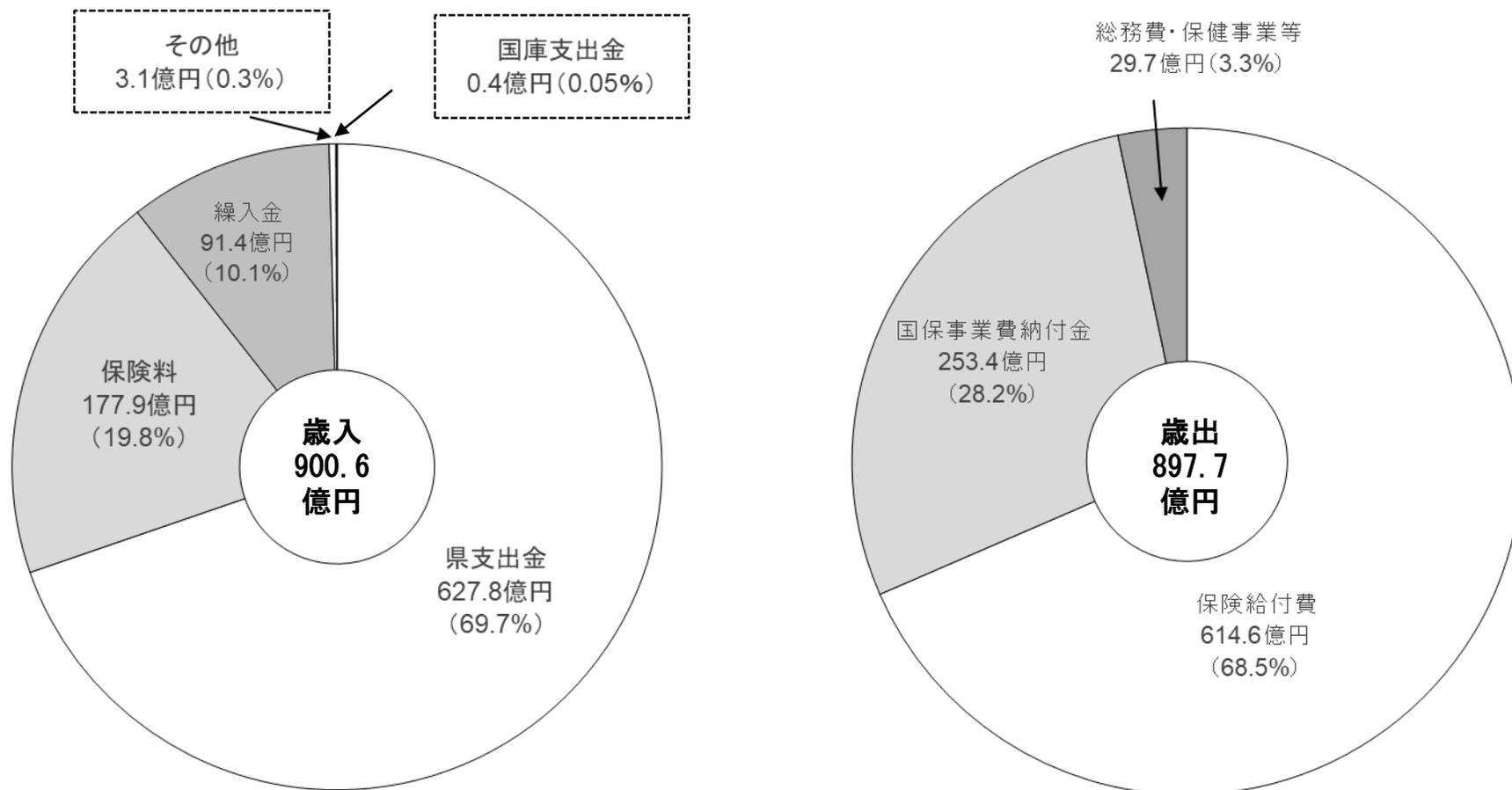
# 1 令和元年度決算について

- ① 歳入決算額 900億6,311万円（前年度比▲ 31億6,235万円, 3.4%減）  
歳出決算額 897億6,853万円（前年度比▲ 32億4,070万円, 3.5%減）  
歳入歳出収支 2億9,458万円
- ② 保険給付費 614億6,173万円（前年度比+4,663万円, 0.08%増）
- ③ 被保険者数（4～3月平均）19万7,109人（前年度比▲5,725人, 2.8%減）
- ④ 一人あたり医療費 368,570円（前年度比+9,308円, 2.6%増）
- ⑤ 保険料現年度収納率 94.65%（前年度比0.28ポイント増）

## 2 前年度決算との比較



### 3 令和元年度決算における国保財政の内訳



※ グラフ内の()内表示は、歳入歳出合計に対する構成比

# 4 令和元年度歳入決算について

単位(億円)

項目	H30 決算	R1 予算	R1 決算	R1 予算-決算	R1-H30 増減額
国民健康保険料	179.3	177.2	177.9	▲0.7	▲1.4
国庫支出金	0.3	0.2	0.4	▲0.2	0.1
県支出金	633.7	636.6	627.8	8.8	▲5.9
その他 (繰越金、雑入)	34.9	3.2	3.1	0.1	▲31.8
繰入金 (一般会計・財政調 整基金)	84.0	94.9	91.4	3.5	7.4
合計	932.2	912.1	900.6	11.5	▲31.6

特別交付金の減等により約5.9億円の減となった。

繰越金(※)の減により約31.8億円の減となった。

※前年度決算にて生じた剰余金のこと。交付金の超過交付額や、保険料の剰余繰越等が含まれる。

財政調整基金繰入金の増(※)により、7.4億円の増となった。

※主に、震災以降交付された国の特別調整交付金の剰余金によるもの

# 5 令和元年度歳出決算について

単位(億円)

項目	H30 決算	R1 予算	R1 決算	R1 不用額	R1-H30 増減額
総務費	38.4	21.1	19.5	1.6	▲18.9
保険給付費	614.2	626.3	614.6	11.7	0.4
国保事業費納付金	254.6	253.3	253.4	0	▲1.3
保健事業	9.2	10.3	9.2	1.1	0
その他	13.7	1.1	1.0	0.1	▲12.7
合計	930.1	912.1	897.7	14.4	▲32.4

基金積立金(※)の減により約18.9億円の減となった。

※前年度決算で生じた剰余金のうち国への返還が必要な額等を除いた額。

償還金(※)の減により約12.7億円の減となった。

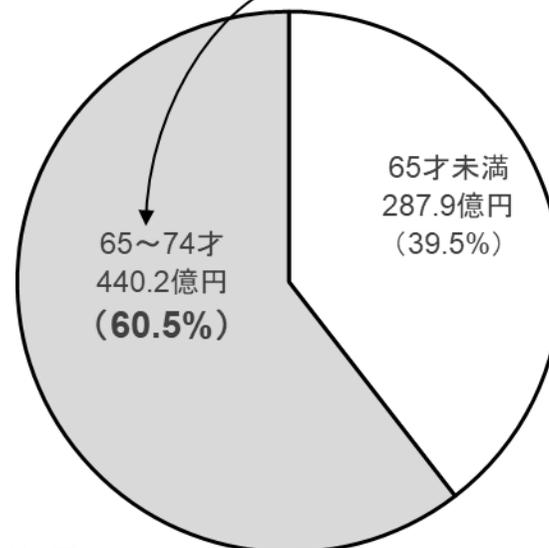
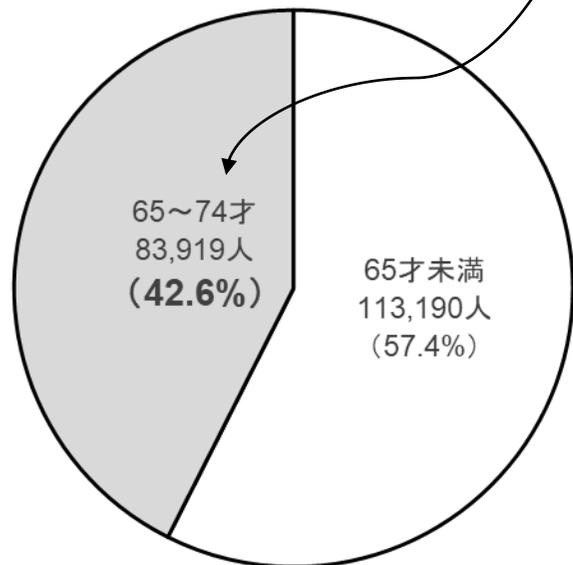
※過年度に受入した交付金の超過交付額を、国や県に返還するための支出。

# 6 被保険者の年齢構成と医療費

被保険者数の**42.6%**を占める65～74歳の被保険者が、医療費では全体の**60.5%**を占めている。

被保険者数(4～3月平均)  
197,109人(対前年度▲5,725人)

医療費(総計)  
728.1億円(対前年度▲2.7億円)



※()内は、合計に対する構成比

一人当たりの医療費 (単位:円)

	65～74才	65才未満	全体
H30年度	517,223	245,092	359,262
R1年度	524,090	253,521	368,570
増減率	+1.3%	+3.4%	+2.6%

※()内は、合計に対する構成比

## 7 保険料収納率(現年度)の推移

以下の収納対策により、令和元年度収納率は94.65%(前年度から+0.28)となった。

- (1)平成31年3月に策定した「仙台市国民健康保険料収納率向上に向けた積極行動戦略9590」に基づいた収納対策の実施
- (2)徴収体制の強化ときめ細かな滞納整理

